



2011~2012年度  
国際ロータリーのテーマ  
こころの中を見つめよう  
博愛を広げるために  
2011~2012年度  
RI会長 カルヤン・ハネルジー

# WEEKLY REPORT

ROTARY CLUB OF NAGOYA MIZUHO

創 立 : 1980年(昭和55年)1月10日  
会 長 : 高須 洋志  
事 務 長 : 馬場 将嘉  
クラブ広報委員長 : 関谷 俊征  
例 会 日 : 毎週木曜日 PM12:30~  
会 場 : ヒルトン名古屋

事 務 局 : 460-0008  
名古屋市中区栄1丁目3-3  
ヒルトン名古屋910号  
T E L : 052-211-3803  
F A X : 052-211-2623  
M A I L : 2760\_nagoya@mizuho-rc.jp  
U R L : http://www.mizuho-rc.jp/

## 第1544回例会

2012年3月29日(木) 晴れ 第34回

~識字率向上月間~

クラブテーマ:「熱田の杜・友愛・気品」

司 会 : 山口哲司会場委員  
齊 唱 : 「それでこそロータリー」「四つのテスト」  
ゲ ス ト : 地区会員増強リーダー 伊藤秀雄さん  
ビ ジ タ ー : 岡崎南RC 太田進造さん

### 会長挨拶

高須洋志会長

本日は海賊についてお話しします。私は海賊に関心があり、話が長くなるので、今回と次回の2回に分けて話したいと思います。ソマリアの海賊については、報道されているので皆さんもご存じかと思えます。以前のソマリアは植民地でしたが、第2次世界大戦後の1960年に独立しました。ソマリアでは6つの部族が覇権を争い、政治体制は非常に混乱し、統治能力が無い状態が続いています。ソマリア付近の海洋は優れた漁場だったので、欧州やアジアの漁船が集中的に集まり、領海内で乱獲したため、資源が枯渇している上、処理に困った産業廃棄物が近海に捨てられています。環境を破壊され、資源も枯渇するという状況になり、生活に窮したソマリアの漁民達が主体となって海での海賊行為(シージャック)を行うようになったのです。海賊行為自体は善悪だけの話ではなく、非常に微妙な問題です。かつて日本にも水軍があり、古くはヨーロッパ近海でノルマン民族が海賊行為を行っていました。それらは商談した結果、取引がまとまらなると略奪していくという、軍隊と商船と略奪行為が紙一重に成り立っているものでした。果たしてこれらの行為を非難できるのでしょうか。コロンブスがアメリカ大陸を発見した時、現地で沢山の物を奪い、原住民を大量に殺戮しましたが、英雄として帰国しています。しかしソマリアの海賊船がこのまま横行すると、商船にとって良い事ではありません。15~16世紀頃に横行していた、国がなかば公認した海賊行為については次回お話しします。



### 幹事報告

馬場将嘉幹事

- ・本日13:40よりヒルトン名古屋9階「ことぶきの間」にて中堅会員のR情報・研修委員会を開催します。
- ・次週4月5日(木)13:40よりヒルトン名古屋9階「ことぶきの間」にて第6回CA・第10回理事会を行います。
- ・5月24日(木)18:00より中京大学文化市民会館ブルニエホールにて「東日本大震災チャリティーコンサート2012」が開催されます。入場無料ですが整理券が必要です。当日会場で1,000円のチャリティー券を購入して頂くと、あしなが育英会への義援金として使われます。コンサートに参加できない方で寄付をされたい方は事務局にお申し出いただければ、チャリティー券の購入が可能です。案内をメールボックスに入れてありますので、詳しくはそちらをご覧ください。

### ニコボックス

平野哲始郎ニコボックス委員

- ・4月8日、長男が結婚します。これで一段落いたします。  
田中 隆義さん
- ・今月は妻の誕生日と結婚記念日を迎えました。幸せです。  
鈴木 淑久さん
- ・3月16日は誕生日でした。また1年、歳を取ってしまった。  
伊藤 豪さん
- ・3月21日に無事、次女に男子が誕生しました。初孫です。  
高木 勝さん
- ・台北のお土産は風邪でした。祟りかなあ〜!!  
内田 久利さん
- ・確定申告も3月15日に終わり、地区大会会計の方もなんとか皆様の協力を得て終わり、精神的にもホッとしております。  
稲葉 徹さん
- ・先日、岩田修司さんに大変お世話になりました。  
松波 恒彦さん
- ・ようやく春らしくなりました。でも花粉症が…ひどいです。  
湯澤 信雄さん
- ・先日の山田愛子さんのチャリティーコンサートのピアノが上手でかっこよく、素晴らしかったです。  
岡本 忠史さん

### 出席報告

平野哲始郎ニコボックス委員

会員68名 出席53名 (出席計算人数51名)

出席率 89.8%

3月22日は補填により 92.3%

### ポールハリスフェロー・米山功労者表彰



ポール・ハリス・フェロー、米山功労者となりました広瀬弘幸さんに高須会長より認証状と襟ピンが贈呈されました。

### 新入会員推薦者表彰

新入会員推薦者の高村博三さん・内田久利さん・泉憲一さん・鈴木淑久さんに高須会長よりバッジが贈呈されました。



## 誇りある増強



地区会員増強リーダーという大役を仰せつかっております。本日は会員増強についてお話ししますが、その大切さは皆さん良くお分かりだと思います。学生時代に親から「勉強しなさい」と言われ、鬱陶しいと思った事と似ているかもしれません。しかし今となって思い返せば、あの時にもっと頑張っていればと思います。69年の人生を振り返っても、学校で習ったことを社会に出て使ったことはほとんどありませんが、算数や国語の漢字力、健康のための体育は大切だと思います。1994-95年度の第2770地区ガバナーを務めた田中作次さんが来年度RI会長に選出されました。ロータリー一筋で会員増強やクラブ活動を熱心に行ったことが認められたのです。

会員増強のためにはクラブが魅力的でなければなりません。4年前、私が会長エレクトの時に3年間の会員増強計画を立てました。私の入会当時、東南RCの会員数は100名でしたが、20年で69名まで減ってしまいました。そこで『チャレンジ100(会員数を100名にしよう)』を目標にし、会長になった7月の第1例会では新入会員11名が入会しました。私自身は5名を紹介し、推薦者表彰で『5』の数字が書かれたバッジを頂きました。計画を立ててから1年間で28名の増強ができ、97名まで増えました。それと共に出席率が悪く、メーキャップもしない会員を3名退会させると、クラブ内の雰囲気を引き締められました。楽しいクラブにするため、6つしかなかった同好会を増やそうと、5名以上集まった同好会には5万円の補助金を出しました。その結果、今では22の同好会があり、今度23番目となる『B級グルメお取り寄せの会』ができます。この会の発足のきっかけは、高島屋会長である今年度会長が、業者が売り込みに来た商品を我々に試食させてくれたことでした。飲み会関連だけでも、日本酒やワインなどお酒の種類や、飲みに行くお店ごとに6つほどの会があります。1人あたり3つ程、多い人では7~8つの同好会に入っています。また東南RCでは女性に入会していただき、現在は10名になりました。おそらく名古屋の24RCの中で一番女性の多いRCだと思います。ご年配で休みがちだった方が女性会員から挨拶され、席まで手を引いてもらうだけでも頑張っただけという気になります。

例会が楽しいと辞める人も減ります。いくら会員増強に力を入れても、退会者が多ければ、意味がありません。RCは世界の中でもステータスの高いクラブです。会員全員が誇りあるロータリアンとなりましょう。入会してもらうために遜ってお願いすることは間違いです。私の入会した頃は面接時に先輩から厳しい質問をされたものでした。今の会員の中には例会が終わり、会場を出てからエレベーターに乗るまでの間に会員バッジを外す人もいます。いつの間にかロータリアンとしての誇りを失ってしまったのでしょうか。

私はロータリーが好きで、ロータリーのために頑張ってきました。1年間で28名増強した時、李東建RI会長から「それは日本や世界で何番目なのか」と尋ねられました。横須賀RCの小沢RI理事に調べて頂くと日本でも世界でも1番でした。その後、李東建RI会長がお台場のホテルにいらっしゃった時にお部屋でバッジを頂き、お話しさせていただきました。そのお陰で『会員増強の伊藤』として名前が有名になり、熊本、大分、青森、仙台、群馬、静岡などで会員増強セミナーに招待されました。ロータリーの皆さんと幅広い付き合いができることは非常に楽しいです。

皆が楽しいと思えるクラブになって頂きたいです。瑞穂RCはガバナー補佐経験者など、御重鎮が多い名門クラブです。その名門を維持し、守っていくためには次の若い世代が必要です。しかしそのためには会員数68名では少なく、せめて80名くらいまで増やしていかなければなりません。次年度の会長、幹事は地区協議会でしっかり鍛え上げます。今後、各クラブ1名の女性会員入会を指示

する予定です。女性1名だけと言うわけにはいかないと、2名、3名と入会が続けば、2760地区の会員数も5,000名を超えるのではないかと思います。かなりの実力を持った女性事業家の方もみえますので、そういう方に入会して頂きたいです。クラブのためにはただ人数を増やす会員増強を強調するのではなく、若い世代や女性による活性化が必要だと思います。瑞穂RCという名前のため、瑞穂区限定になっていないでしょうか。西南RCは『丸の内RC』と名前を変え、東南RCも『名古屋タワーズRC』などに名前の変更を考えていますので、瑞穂RCも名前の変更を検討してみるのも良いと思います。本日はありがとうございました。

## 国際ロータリーニュース

## グローバル補助金で母子のHIV予防と治療を支援

米国カリフォルニア州(第5170地区)のロータリアン2名と医療専門家6名から成る職業研修チームが、ロータリー財団グローバル補助金を活用してリベリアの首都モンロビアを1週間訪問し、HIV母子感染の予防に関するワークショップの指導を行いました。このワークショップでは、HIVの診断と治療に関する情報や参考文献が提供され、参加した50人の医師や看護師たちは、ワークショップで学んだ知識や技術を生かして、HIVに感染している妊婦の教育、母親と新生児の治療や薬の投与、HIV感染予防に関する啓蒙活動などを行っています。

地元、シンコール・ロータリー・クラブの会員たちが、このワークショップの主催に加え、HIVに感染した恵まれない女性や子供たちのための栄養補助剤の配給や、これら母子たちの病院への送迎を行っています。

## 世界各地で活用されているグローバル補助金

HIV予防のワークショップは、未来の夢試験地区である第5170地区が実施した複数のグローバル補助金活動の一つです。このほかにも、グアテマラとフィリピンの病院への医療機器の寄贈、ベリーズの小学校へのトイレの設置、ウガンダでの「Adopt-a-village(村全体支援)」プロジェクトなどを実施しました。グローバル補助金によって、地区の目標でもあるロータリー重点分野の支援を効果的に果たすことができると、同地区のロータリアンは口をそろえます。

グローバル補助金プロジェクトへの参加の恩恵は、それだけではありません。「地区内のクラブが新しい補助金に関する研修を受け、その内容を理解していくにつれ、小さなクラブがほかのクラブと協力して、もっと大きく持続可能なプロジェクトに挑戦するようになりました。未来の夢計画の下では、『大きく考えよう(Think big)』とロータリアンに呼びかけています」



職業研修チームメンバーのリッチ・ケイシーさん(一番左)。モンロビアにあるセント・ジョセフ病院の医師たちと挨拶する。職業研修チームメンバーのリッチ・ケイシーさん(左)  
写真提供: Rotary Club of Los Altos

## 例会のご案内

## ■今週の卓話 4月5日(木)

会員卓話: 松井善則さん  
テ - マ: ロータリー情報とは?

## ■次週の卓話 4月12日(木)

卓話者: RI第2760地区ローターアクト直前代表 猪子知里さん  
テ - マ: カンボジアの子どもたちの現状

## ■次々週行事 4月19日(木) なごやか例会